



江東区議会議員

鈴木 あやこ

vol.106
(2023年11月号)

江東区東陽4-11-28 江東区議会新時代の会

江東区議会第3回定例会開催報告と区政に関するご報告

江東区議会令和5年第3回定例会は、9月21日から10月25日までの会期で開催。全ての議案が可決され、閉会しました。

鈴木あやこは9月21日の本会議で、江東新時代の会の代表質問に登壇。令和4年度の決算審査特別委員会においても、江東区の広報や、地下鉄8号線沿線まちづくりなどについて質問を行いました。議会質問については、10月23日の区政報告座談会「第150回あやこcafe」の中でもご報告を行いました。

区議会閉会後の10月26日に、木村弥生区長が辞意を表明し、11月15日をもって江東区長を辞職することになりました。区長の辞職は公職選挙法違反に起因するものであり、極めて遺憾であり、大変重く受け止めております。区議会議員としても、襟を正し、公職選挙法や法令遵守に努めてまいります。江東区長の辞任に際し、江東区では、大塚副区長が当分の間区長代理を務め、区民生活に影響が出ないよう、区政運営に取り組んでまいります。



江東区民まつり開催(10月14日)

江東区最大のまつり「第41回江東区民まつり」が都立木場公園で開催。

コロナ禍では、中止や飲食の制限などもありましたが、今回からはフルスペックで復活。開会式パレードやステージイベントのほか、行政や市民団体・各種団体・町会自治体などによる出展や、全国の地方自治体の「はるばるパズール」なども盛り上がりました。2日目の10月15日は荒天により中止となりましたが、初日は約10万人の来場者で賑わいました。



豊洲～日本橋間の船便が運行開始! (10月25日から)

東京都は新しい通勤のスタイルとして、船を利用する「舟旅通勤」10月25日から開始。ららぽーと豊洲船着場～日本橋間で、通勤のための船の運航を始めます。毎週火・水・木曜日の夕方～夜にかけて運航。運賃は500円。チケットはWEB予約を優先し、先着順で販売。

船を通勤手段として定着させ、水辺の賑わいづくりにつながるムーブメントとして応援している取り組み。

皆様ぜひご乗船ください!



PROFILE
鈴木あやこ

1975年2月18日生まれ。江東区猿江・潮見を経て豊洲在住。
 成城大学文芸学部卒。早稲田大学大学院修了。
 NTTドコモ出身。働く若い世代を代弁する女性が不在という江東区議会の構成に問題意識を持ち、2011年に初当選、区議3期。文教委員長・厚生委員長を歴任。
 超高層マンション管理組合副理事長、災害協力隊経験を活かし、地域コミュニティ活性化や防災に取り組む。
 日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」を4回受賞。実行委員長を務める。
 区政報告座談会「あやこcafe」を毎月開催。「ほほ週刊あやこcafeラジオ」を毎週配信。

鈴木あやこ ホームページ
<http://www.suzukiyako.com>

鈴木あやこ Twitter
twitter.com/ayako_suzuki

鈴木あやこ YouTubeチャンネル

(1)豊洲駅周辺のまちづくりについて

豊洲駅周辺のまちづくりについては、豊洲2・3丁目の商業開発のほか、豊洲4丁目については、都営団地建替と地下鉄8号線延伸によって大きく進展していくことが期待される。都営豊洲4丁目アパートの建替と住民の転居が完了し、旧団地の解体工事も2024年1月に完了する予定。今後のまちづくりについては、期待の声とともに、地下鉄8号線延伸工事の影響などを心配する声も届いている。

都営団地建替による駅前の創出用地の活用を含めた豊洲駅周辺のまちづくりについては、区では地下鉄8号線延伸に合わせて検討するとしている。区では、地域からの要望書への対応のほか、都市計画マスタープラン、地下鉄8号線沿線まちづくり構想策定に向けてのワークショップなどを通じて区民意見の集約をしているところであるが、地域の要望をまちづくりにもれなく反映していただくことを切に望んでいる。

【質問】

①豊洲駅の地下鉄延伸による掘削工事で、豊洲小学校の校庭が使用できない期間が年単位で想定されるので、校庭の代替となるグラウンドとしても使用できるようにしてほしいという声をいただいているが、地域要望を受けて東京都やメトロなどに対して、どのように動いているか。

【答弁(地下鉄8号線事業推進課長)】

まず、8号線のルートとして、豊洲小学校校庭の地下部を通過すること、また、豊洲小学校敷地での工事は地上から掘削する開削工法が計画されていることは把握している。学校敷地の工事での使用は、期間や範囲を可能な限り短縮・縮小した上で、工事期間中の教育環境を確保することが前提である。

現在、東京メトロが設計や施工計画の検討を通じて、学校に影響の生じる期間や範囲を精査している状況であり、具体的な対応について申し上げることは困難だが、区としては、まずは事業者である東京メトロに対し必要な対策を取るよう求めていく。一方で、区としても、東京メトロが実施する対策に対し、できる協力を行い、両者で連携して教育環境の確保に努めていく。

②都営団地の創出用地について

【質問】

都営団地建替後の豊洲駅前の創出用地については、訪れた方が滞在、交流でき、防災機能を備えた公園などのオープンスペースとするなどの地域要望をいただいている。区としては、創出用地の活用を活用したまちづくりについてはどう考えているのか?東京都との対応経緯などもあわせて伺う。

【答弁(まちづくり推進課長)】

豊洲駅周辺のまちづくりについては、地下鉄8号線延伸のまちへの影響、地域住民等の発意やまちづくりの機運などを捉え、地域の魅力増進や課題解決を図っていく必要があると考えている。都営豊洲四丁目団地の建替に伴う創出用地については、地元協同組合有志の方々から、緑あふれる空間におけるコミュニティの創出や災害への備えなど、地元が抱える課題解決に資する活用が強く望まれていることから、令和4年3月、都に対し、本創出用地の活用等について本区と連携して取り組むよう要望書を提出し、現在協議を行っているところである。創出用地の活用を含め、今後のまちづくりにつきましては、地下鉄8号線の延伸を見据え、引き続き、地域の皆様と協働するとともに、都と連携しながら検討していく。

豊洲駅周辺で目指す姿

『水辺環境を活かし、持続的に発展する
安全安心な次世代都市』

水辺環境を活かした舟運の活性化や次世代交通等による回遊性の向上、防災対策の強化に加え、高齢化社会への対策を検討する等、誰もが安全安心で持続的に発展できるまちを目指す姿として設定します。

